



●市長あいさつ

藤岡市は、花と緑と清流の豊かな自然に恵まれ、世界文化遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つ「高山社跡」を保有し、石器時代や古墳時代の史跡を数多く有することが示すように、古くから人、物の交流が盛んな都市として発展してきました。

現在は、首都圏から約90kmに位置し、関越自動車道と上信越自動車道の結節点であるとともに北関東自動車道にも隣接する自動車交通の要衝となっており、道の駅「ららん藤岡」は連日多くの来場者で賑わっています。

これらの恵まれた環境と長年育んできた伝統、文化を活かして、子育て支援や医療環境の充実、雇用創出のための企業誘致、インターチェンジ周辺の開発等を中心に、本市に住む人、働く人が幸せを実感できるまちづくりを市民の皆さんと共に進めております。

このたび、市役所の仕事や窓口での手続きなどの行政情報、市内の公共施設、医療機関の情報など、皆さんの暮らしに役立つ情報を掲載した「ふじおか 暮らしのガイドブック」を官民協働事業により作成いたしました。藤岡市に暮らしている皆さん、そして、これから藤岡市で暮らしていく皆さんには広くご活用いただければ幸いに存じます。

結びに、この冊子の発行にあたりまして、ご協力をいただきました市内の事業所や関係団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

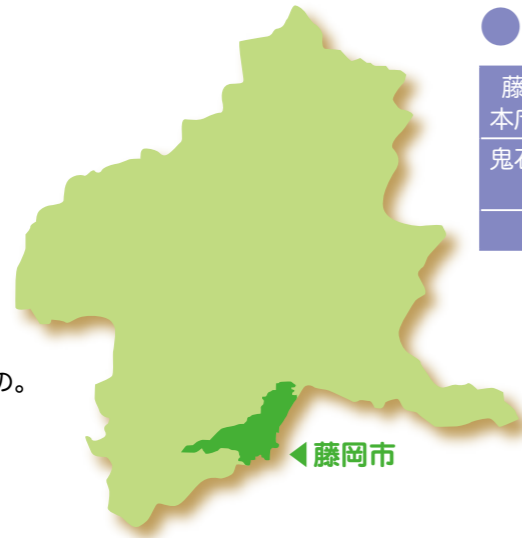


藤岡市長 新井雅博

●市章



カタカナのフの字を二つあわせ、中に丘を表わしたもの。



●位置・面積

藤岡市役所 本庁舎の位置	藤岡市中栗須327 東経:139度4分41秒 北緯:36度15分19秒
鬼石総合支所 の位置	藤岡市鬼石170-1 東経:139度3分40秒 北緯:36度9分18秒
面積	180.29km ²

●人口・世帯

【平成28年4月1日現在の住民基本台帳
(外国人登録を含む)による】

人口	男	32,862人	女	34,139人
	総人口	67,001人		
世帯	26,841世帯			

●市の木・市の花

市の木:



モクセイ



クスノキ



スギ

市の花:



フジ



サルビア



冬桜

●沿革

藤岡市は群馬県の南西部に位置し、東は埼玉県上里町・神川町、西は高崎市・甘楽町・下仁田町、南は神流町・埼玉県秩父市、北は高崎市・玉村町と隣接。総面積は180.29km²。鮎川・鎭川・烏川・神流川が流れ、最南部には下久保ダムがあり、緑と清流に恵まれた山紫水明な地です。

歴史は古く、古墳時代の史跡も多く発見されています。室町時代には関東管領職にあった山内上杉氏が平井城を築きました。江戸時代は日野絹の集散地として栄え、明治以降は世界遺産としても登録された高山社に代表される養蚕業の先進地、また、木材の集積地として発達してきました。

昭和29年、藤岡町と神流村・小野村・美土里村・美九里村の隣接1町4カ村が合併して市制を施行、翌年には平井・日野両村を編入、平成18年1月1日に鬼石町を編入し、現在の藤岡市となりました。

●市民憲章

【昭和49年10月1日制定】

わたくしたち藤岡市民は、郷土の歴史と恵まれた自然をいかし、永遠の発展をめざして、人情豊かな明るい藤岡市とするために、ひとりひとりの道しるべとして、ここに市民憲章を定めます。

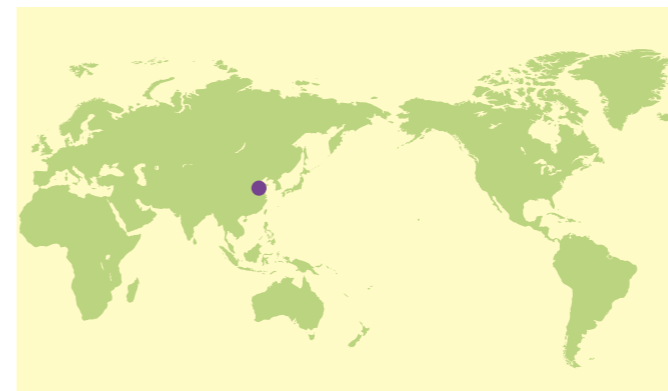
- 1 わたくしたちは、教養をたかめ、いつでもだれにも親切をつくせる人になりましょう。
- 1 わたくしたちは、史跡を大切に、青い空と緑を育て清潔なまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたちは、スポーツに親しみ、たくましいからだとねばり強い心をつくりましょう。
- 1 わたくしたちは、子どもを大切に、青少年には夢を、老人にはやすらぎのあるあたたかい社会をつくりましょう。
- 1 わたくしたちは、働くことに誇りを持ち、住みよい活気ある郷土藤岡をつくりましょう。

●姉妹都市・友好都市

姉妹都市：石川県羽咋市



友好都市：中国江陰市



●藤岡市のご当地ぐんまちゃん

藤岡市のご当地ぐんまちゃんは、ふじをテーマにした「ふじの里」づくりのイメージキャラクターであるふじ娘に扮しています。そして、天然記念物に指定されている冬桜を背景にしました。

